

組曲新聞

成長し「あい」をつなぎ、誇れる組曲を

十九代目広報部門発行

足を意識して力強く(女踊り)

米とぎは、かぶら屋さんに、米をとぐ時の足の動きに注意して、かけ声をかけたり、足を重点的に練習するなどさまざまなことを教えてもらったそうです。教えてもらったことをどう生かすか聞いてみたところ、かぶら屋さんに言われたことが出来るように、残り少ない練習の中で少しでも公演に向け一つ一つの練習を大切にがんばっていきそうです。

華やかに見せる(女踊り)

かぶら屋さんに、教えてもらったことは、Cの振り付けのところを曲げている方の腕を肩の前に来るようにする、足を腕のタイミングを少しずらす、Dの振り付けのところを、腕を下ろすスピードをゆっくり余韻を残すようにするところです。このことを教えてもらって、どう生かすか聞いてみました。たる踊りの柔らかい感じの踊りや華やかな踊りをちゃんと出せるようにすることをしたいと教えてくれました。公演に向けて、大事にしたいところは、華やかなところをやわらかい感じでちゃんと表現できるようにして明るい雰囲気を見ている人に伝わるようにしていきたいそうです。



分かりやすいパンフレットを(広報)

パンフレットチームは、公演で配るパンフレットを作成しています。パンフレットでは部門ごとに見てほしいところなどを取材して、パンフレットに分かりやすく載せています。パンフレットチームでがんばっている人は新名さんです。新名さんは、広報部門のリーダーとしてもがんばってくれています。リーダーとして、リーダー会に参加し、他の部門と交流しているそうです。分かりやすく部門について伝えているパンフレットにご期待ください。

全部の部門をつなげる新聞チーム(広報)

私たち新聞チームは全部の部門をつなげるために新しい新聞を発行しています。毎時間文を考える人と、文字を打つ人にわかれていきます。新聞チームでがんばっている人はリーダーの為岡さんです。為岡さんは時間内に新聞が作れないときは部活などで仕上げてくれる頑張り屋さんです。すごく頼れるリーダーです。私たちは三人で活動をしています。これからも楽しい新聞を作っていくので読んでみてください。

